第 2 次

# 山 鹿 野 町総合振輿計画

2019~2028

~持続可能で幸せなまちづくりに 向けた十年を築くために~



©山口 清文

花と歌舞伎と名水の町

**小鹿野町** 

小鹿野町は、平成21年3月に策定した第1次小鹿野町総合振興 計画に基づき各種施策を推進し、計画的な行財政運営に努めてま いりました。

この間、本町を取り巻く社会経済情勢は、目まぐるしく変化し、 少子化等に伴う人口減少や厳しい財政状況など、多くの課題が山 積しています。

そこで、多様な課題に町民の皆様とともに取り組み、未来に向けて持続可能で幸せな小鹿野町を築くため、2019年度からの10年間を計画期間とする「第2次小鹿野町総合振興計画」を策定しました。

本計画では、「文化の香り高く将来に躍動するまち」を将来像として掲げ、文化的側面の充実を図りながら、経済や人の賑わいといった活力が躍動するまちの実現を目指します。

また、「花と歌舞伎と名水の町」に象徴される本町の特色や町民 の温かい人柄などの「小鹿野らしさ」を活かし、住むことに誇り が持てるまちづくりを進めてまいりますので、町民の皆様の一層

終わりに、本計画の策定にあたりまして、ご協力いただきました関係各位に心からお礼申し上げ、あいさっといたします。

のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小鹿野町長 森 真太郎



た

# 合振輿計画策定にあたって



小鹿野町は、急速な少子化により人口は減少を続けており、人口推計によると5年に千人のペースで減少し続け、2030年には9千人を下回ると予測されています。

このままでは行財政の規模縮小に相まって、集落の自治機能の低下など、 町民の生活に様々な支障をきたすことが考えられます。

町民の皆さまと、まちを取り巻く現状や危機感を分かち合い、町民と行政が知恵と力を合わせていくことによって、2019年度から始まる計画期間の10年を、持続可能で幸せな暮らしの礎を築いていく10年とするために「第2次小鹿野町総合振興計画」を策定しました。

人口の推移と予測(各年10月1日現在)

本町の人口は、5年間に 1000人のペースで減少



資料:実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計

計画の性格 と期間 本計画は「基本構想」、「基本計画」で構成し、町で定める全ての計画の 最上位計画として位置付けるものです。

#### 基本構想

基本構想は、本町が目指すまちづくりの基本的な方向性や目標を示すもので、これからの本町の将来像や重点目標と基本戦略、取り組むべき施策の大綱を示しています。計画の期間は2019年度から2028年度までの10年間です。

#### 基本計画

基本計画は、基本構想が描くまちづくりを実現するため、施策の方向性を定めたものです。計画期間は、前期基本計画2019年度から2023年度まで、後期基本計画2024年度から2028年度までの各5年間です。

#### 計画の期間



基本構想

基本計画

# ••Ogano town

• • •

# **山鹿野町**

文の格系像

# 文化の香り高く将来に躍動するまち

小鹿野町の将来像である「文化の香り高く将来に躍動するまち」は、本町が有する文化的側面や「小鹿野らしさ」が充実しながら、経済や人の賑わいといった活力が躍動し、町民一人ひとりが充実した人生を送ることを目指して掲げたものです。

本町は、美しい自然環境やかつて市場町として栄えた歴史、また歌舞伎に代表される伝統文化を有しています。これらに加え、町民の温かい人柄が「小鹿野らしさ」の原点となっています。

今後のまちづくりにおいても「小鹿野らしさ」を継承・発展させ、農林業や 商工業が力強く躍動し、若者の働く場所があるまち、そして町民一人ひとりが、 主体的な地域づくりや文化活動などにより様々な分野で活き活きと活躍するま ちを目指します。また、これらの強い魅力を発し、進学などで一時的に都会に 出た若者や小鹿野の暮らしに憧れる新規参入者によって人口減少に歯止めがか かり、持続可能で、躍動するまちを目指します。

「文化の香り高く将来に躍動するまち」は、具体的には次のようなまちです。

人口 9,000人を 超えるまち

町民 一人ひとりが 活躍するまち

地域経済の 活発なまち 住むことに 誇りを持てる まち

# 人口9,000人を超えるまち

本町の人口は、このままの状態が続けば、2030年には8,502人になることが 予測されているため、少子化対策を最重要施策と定め、若者のU・Iターンな どを進めることによって10年後(2028年)の目標として9,000人を目指します。 また、人口減少が進むなかでも、持続可能で、町民の活力があふれるまちを目 指します。

# 地域経済の活発なまち

農林業では、若い後継者が育ち、様々なブランド化された野菜づくりが行われ、観光では、「花と歌舞伎と名水の町」に加え、新たな資源の活用により更に発展し、商工業では、既存事業所が発展しながらも、時代の変化に対応した若者たちが働きやすい新たな産業が興り、地域全体の経済活動が活発なまちを目指します。

# 町民一人ひとりが活躍するまち

「子どもは町の宝」として町全体で子育てを支援するとともに、ふるさとの 良さを実感し、町に貢献しようとする「郷土小鹿野に根ざした人づくり」が行 われるまち。また、地域ぐるみで支え合いが行われ、いつまでも活き活きと健 康で暮らすことのできるまちを目指します。

# 住むことに誇りを持てるまち

特産品や観光名所だけではなく、行政サービスや住民の人柄、伝統文化など、様々な小鹿野の良さが地域ブランドとして確立し、住んでいる人が誇りと愛着を持ち、町外から移住したくなるようなまちを目指します。

# •••Ogano town

•

# 榕来像実現に向けた重点目標

「文化の香り高く 将来に躍動するまち」を実現するために、次の3つの 重点目標に取り組みます。



安心して産み 育てられる まちづくり いつまでも 元気で、自分らしく 暮らせる まちづくり

# 働く場の創出

人口の減少を止めるためには、若い世代や子育て世代が地元で働きたいと感じる雇用の場の確保、産業の創出が不可欠です。

多様な働き方が可能で、自分のやりたい仕事にチャレンジしやすく、子育て をしながらでも働けるなど、働きやすい環境の整備を進めます。

# 安心して産み育てられるまちづくり

活力のあるまちづくりには地域の子どもたちの元気な声が必要です。

安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるために、子育て支援 体制を充実させるだけではなく、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てる意 識を育みます。

# いつまでも元気で、自分らしく暮らせるまちづくり

今後、ますます進行する高齢化に伴い、要介護高齢者の介護ニーズの増加が 予想されます。

長期的には、高齢者人口以上に生産年齢人口の大幅な減少が予測されている ため、少ない担い手で高齢者を支えることができるよう、将来を見通した高齢 者福祉や介護サービスなどのあり方を検討する必要があります。

地域全体で町民の健康づくりを促進し、一人ひとりの健康寿命を延ばすことで、いくつになっても活き活きと生活できるようサポートします。

# 「自治力」と「ブランド力」で 切り拓くまち (まちづくりの基本戦略)

持続可能なまちづくりのために必要な「力」として、「自治力」と「ブランドカ」の2つを推進します。

「自治力」と「ブランド力」を高めることによって、将来像実現に向けた 課題の解決を図るとともに、すべての行政分野においてこの2つの「力」を 踏まえた事業を実践します。

# 「自治力」住民の自治意識の高いまち

町の諸課題の解決には、行政による町全体の画一的な事業展開では限界があります。

地域(行政区)により、異なる課題を解決するためには住民自身で問題の解 決を図る地域の力が必要です。

この力を「自治力」と名付け、町全体の「自治力」を高めるために行政が積極的にサポートを行います。

具体的には、地域の中の健康・福祉・交通などの諸課題に自ら取り組む組織に対して、行政が権限の付与や財源措置、情報の提供を行います。

# 「ブランド力」強い魅力を発信するまち

町の内外に魅力を知ってもらうには、町そのものをブランド化することが有効です。

特産品や観光名所だけでなく、サービスや支援策などにおいても小鹿野町ならではの強い魅力を発揮できるモノ・コトをブランド化します。

このようなブランド化しうるモノ・コトを積極的に掘り起こし、磨き上げ、 発信する力を「ブランド力」と名付け、町をあげてこの力を高めていきます。



#### 基本目標

#### 」」と「ブランドカ」(まちづくりの基本戦略)

人口減少にまけない 小さくても 輝き続けるまち

本町の自然や特性を活かした 地域経済の創生

かがやく未来へおがの人づくり

すべての世代に配慮された 社会保障の充実

快適で安心して暮らせる 環境の整備

- 1 住み続けたいまちづくり
- 2 地元出身者受け入れ環境の整備
- 3 移住したくなるまちづくり
- 4 交流活動の推進
- 5 外部人材などの活用
- 1 農林業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 観光の振興
- 4 起業・就労支援
- 1 幼児教育・保育の充実
- 2 学校教育の充実
- 3 生涯学習の充実
- 4 芸術・文化活動の充実
- 5 スポーツ・レクリエーションの充実
- 6 児童・青少年の健全育成
- 7 人権の尊重と男女共同参画社会の実現
- 8 県立小鹿野高等学校との協働
- 子どもから高齢者までの地域包括 ケアシステム(ケアタウン)の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障害者福祉の充実
- 5 保健・医療の充実
- 1 地域整備と公共施設の有効活用
- 2 道路・公共交通
- 3 生活環境の充実
- 4 安心安全対策

まちづくりを支える行財政の基盤づくり

# 

基本目標

01

# 人口減少にまけない 山さくても輝き続けるまち

#### 住み続けたいまちづくり

定住者の就職や結婚・住居の取得など人生の転機において、小鹿野町に住み続けることを選択したくなるまちづくりを進めます。

#### 地元出身者受け入れ環境の整備

進学などで町を離れた出身者が、地元に戻り、職を得て生活するための環境整備 に努めます。

#### 移住したくなるまちづくり

移住相談窓口業務をはじめとした、積極的な移住支援に取り組みます。また、住宅や仕事の確保など移住にあたっての課題の解消に努めます。

#### 交流活動の推進

町の内外を問わず、小鹿野町を愛し、まちづくりに関わる人を増やすことで、町内外の人材の技術・知識を融合させたまちの活性化を図ります。

#### 外部人材などの活用

地域おこし協力隊をはじめとする外部人材との協働や官民連携など、新たな風を 巻き込んだまちづくりを進めます。





#### 基本目標

02

# 本町の自然や特性を活かした 地域経済の創生

#### 農林業の振興

若い人が新たに農林業を始めることができる環境を整備するとともに、「おがの」ならではの、「おがのでなければ買えない・食べられない」特産品の開発を目指します。

#### 商工業の振興

既存の団体や若手経営者との協働により、商店街の魅力の向上に努めるとともに、「地域の稼ぐ力」を高めます。また、既存商工業の発展を促進しながらも、IT化など、時代のニーズに即した業態への転換も積極的に図ります。

#### 観光の振興

歴史と自然を生かした「花と歌舞伎と名水の町」を更に推進するとともに、新たな資源を活かした観光振興を図ります。

#### 起業・就労支援

町内への定住を促進する上では、就労の場の確保が重要です。経営者と協力しながら若者や子育て世帯が働きたいと感じる雇用の場の確保や高校生の就労支援に努めるとともに、起業・創業への支援を行います。





#### 基本目標

03

# かがやく赤来へおがの人づくり

#### 幼児教育・保育、学校教育の充実

伝統文化や地域の人々との交流を通じて、まちの将来を担う子どもたちが、ふるさと の良さを実感し、町に貢献しようとする、「郷土小鹿野に根ざした人づくり」を進めます。

#### 生涯学習、芸術・文化活動の充実

多様化する町民のニーズを的確に捉えた学習機会を提供していくとともに、幅広い世代の学びをとおして地域を引っ張っていくリーダー的人材の育成を推進します。

#### スポーツ・レクリエーションの充実

町民がいつまでも健康で活き活きと暮らすことができるよう、ライフスタイルに合わせたスポーツ・レクリエーションの普及・促進を図ります。



#### 児童・青少年の健全育成

子どもたちの自主的な活動を育みながら、地域社会の一員としての自覚と責任を 身につけた人材の育成に努めます。

#### 人権の尊重と男女共同参画社会の実現

町民の人権意識の向上や人権教育を推進し、差別意識や偏見などによる人権侵害 の抑制を図ります。

また、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進し、男女がお互いに支え合い、だれもが性別や年齢に関わりなくその個性と能力を十分に発揮でき、安心して生活できる社会の実現を目指します。

#### 県立小鹿野高等学校との協働

県立小鹿野高等学校の魅力化・活性化と地域創生を結びつけ、双方向の支援・協働体制の確立に向けて全町が一体となった取り組みを推進します。



0 0 0

基本目標

04

# すべての世代に配慮された 社会保障の充実

#### 「子どもから高齢者までの地域包括ケアシステム(ケアタウン)の充実

子どもから高齢者まで全世代を対象とした社会保障、言わば、まち全体がケアタウンとしての機能拡充を進めておりますが、元気で自分らしく暮らすことができるための更なる社会保障の充実を推進します。

また、国民健康保険町立小鹿野中央病院(以下「小鹿野中央病院」)と保健福祉センターを核とした地域包括ケアシステムの更なる充実を図り、保健・医療・福祉・介護サービスが切れ目なく、一体的に提供される体制を充実させ、関係機関の総合的な連携強化を図ります。

#### 子育て支援の充実

保健師や保育士などの専門職が連携し、妊娠からの切れ目ない子育て支援を行うとともに、地域全体で子育て世代を支援する体制を強化します。

#### 高齢者福祉の充実

増加する介護需要に対応できるよう、福祉サービスの安定的な供給に努めるとともに、高齢者自身が地域づくりの担い手として生きがいをもち、健康で暮らすことができる環境づくりを進めます。

#### 障害者福祉の充実

障害者が活き活きと生活できるまちを目指し、障害のある人もない人も身近な地域で共に支え合う共生社会の実現に向けた取り組みを推進します。

#### 保健・医療の充実

健康寿命の延伸に向けて正しい食生活習慣、運動習慣の普及に努めるとともに、 地域ぐるみで進める支え合いの健康対策を促進します。また、小鹿野中央病院を核 とする地域医療体制の安定的な運営に努めます。



# 

基本目標

05

# 快適で安心して暮らせる 環境の整備

#### 地域整備と公共施設の有効活用

自然豊かな町・小鹿野の魅力を活かしたまちづくりを進めるうえで、秩序ある土地利用が不可欠です。そのため、農業やスポーツ、観光など地域の特性に応じたまちづくりを進めるとともに、既存の公共施設の有効活用を図ります。

#### 道路・公共交通

町民の通勤・通学や生活の利便性を向上させるため、道路の改良を計画的に進めるととも に、長尾根のトンネル化をはじめとする幹線道路の整備を促進します。

#### 生活環境の充実

河川の水質保全を図るため、合併処理浄化槽の普及に努めます。また、町ぐるみでごみの減量化や資源のリサイクル化に取り組みます。

#### 安心安全対策

近年、大型台風や集中豪雨、豪雪などの自然災害による被害を受けていることから、防災 対策と体制の強化に努めます。また、観光客の増加や町民の生活様式の変化等に応じた交通 安全対策や防犯対策を進めます。



0

0

о О

•

# まちづくりを支える 行財政の基盤づくり

本計画は、行政と町民の協働を強く意識し、両者が連携や協力をすることによって、大きな効果と成果を目指しています。

計画の推進にあたり、常に実施する施策・事業の有効性・効率性の向上などを目指し、計画を達成する努力を継続します。

# 効率的な行財政の経営

地方分権の進展に伴い、自治体の自主性や自立性は拡大する方向にあり、 行財政制度の改革が進んでいます。このため、自己決定・自己責任を果たせる 政策自治体としての能力を高めることに努めます。

また、新しい時代の公共サービスのあり方を追求するなど、町民の視点に立った行財政運営を推進します。

財政運営にあたっては、地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく財 政指標を遵守します。

# 行財政改革

行財政改革においては下記の3つの視点で推進していきます。

- ・他会計繰出金の適正化など事務事業の見直し
- ・ちちぶ定住自立圏による1市4町の連携強化など広域行政の推進
- ・包括連携協定による事業の推進など民間活力の導入



発行 小鹿野町役場

〒368-0192 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 89 番地 電話 0494-75-1221 (代表) FAX 0494-75-2819

E-mail: ogano@town.ogano.lg.jp